

令和6年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 2年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを落とさずに、話したり聞いたりすること。 ・順序に気を付けて、文章の組み立てを考えて作文を書くこと。 ・主語と述語の関係や順序を考えて、内容の大体を捉えて読むこと。 ・とめ、はね、はらいなどを捉え、字形を整えて正しく書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話すときはメモをもとに、聞くときは話し手への質問を考えながら聞くことに重点を置く。また、音読などはお手本となる児童を称賛し、よい話し方を意識付けていく。 ・「話の内容(初め)」「自分の考え(中)」「まとめ(終わり)」の構成になるように、組み立てメモを活用する。会話文の改行を意識して書かせる。 ・主述の関係や順序を表す言葉、接続詞等に印をつけて視覚化したり、ノートにまとめたりする。 ・漢字学習帳を活用し、丁寧に書く指導を継続して行う。また、定期的に漢字ミニテストを行い、習熟できるようにしていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法の意味を知り、計算が確実にできること。 ・数を十や百を単位としてみるなど、相対的な大きさについて多面的に理解すること。 ・量の単位や時間について知り、用いることができること。 ・図形を構成する要素に着目して図形を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・九九を確実に覚えることはもちろんのこと、絵や図を用いた乗法の問題作りを積極的に行う。 ・様々な形で捉えた数を、話し合い活動や全体でたくさん共有する。 ・長さやかさの単位を日常生活の場面で使えるよう、実際に長さや水のかさを測る活動を取り入れる。 ・折り紙などを使って図形についての感覚を身近なものにできるように指導する。自分自身で絵や図をかかせる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かること。また、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接すること。さらに、それらとともに安全に生活すること。 ・観察や見学したことを、絵や文章で表し、友達や他学年に発表すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探検や見学といった学習を通して、地域の人々と関わったり、魅力的な場所などについて関心を広げたり、知りたいという意欲をもたせるようにする。また、異学年交流を通して、他者との関わり方を考えさせる。 ・どんな方法で学習したことをまとめると、学習したことが分かりやすく相手に伝えられるか考えさせる。表現方法について様々な方法があることを、教師が示し、児童の考えを広げる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動にすすんで取り組み、きまりを守り仲良く運動すること。 ・場や用具の安全に気を付けて、運動することができること。 ・いろいろな運動の仕方を工夫することができること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守る意味を児童と確認しながら、遊びに必要なきまりを考えたり、守れているか確認したりする。 ・運動における危険について予想させ、より安全な活動の仕方を示し、安全に楽しく運動できるようにする。 ・遊びを試しながら、「さらに遊びを楽しくする工夫はないか。」児童に問いかける。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考える中で、どうしてそうしたのかという行動の理由を考えること。 ・教材文の内容を「自分だったらどうする。」と自分に置き換えて考えること。 ・考えた価値への理解を日常で生かそうとする態度を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技やグループでの話し合い、ワークシートへの記入などを設定する。 ・ワークシートなどを活用して、じっくり考える時間を確保する。 ・係活動や友達同士の関わりの中で「頑張れそうなこと。」「やってみたいこと。」等の具体的目標をもたせる振り返りを行う。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽経験や生活の中で培われたものを通し、子供が主体的に「音楽的な見方・考え方」を働かせることができるようにする。そのために、合わせる楽しさ、協働して音楽活動をする楽しさ、素敵だなあと感じる楽しさなど、音楽ならではの楽しさを味わうことができるようにする。そして、音楽を親しむ態度を養い、豊かな情操を養う。 ・音楽表現に必要な技能を身に付けたり、思いや意図をもって音楽表現を工夫したり、音楽のよさやおもしろさを味わって聴いたりできるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽の出合いを大切にし、音楽を形づくっている要素を聴き取り、言葉や体の動きなどで表現したり比較したりしながら音楽経験を積み重ねていく。その際、友達と共有したり共感したりできるようにする。 ・くり返し音楽を聴いたり体を動かしたりしながら、楽曲に親しみ音楽を聴く楽しさを味わえるようにする。 ・歌詞や曲の感じからどのように表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするのか、常に問いかけ、一人一人が思いをもてるようにする。低学年では特に「拍感」を育つように体を動かす活動を取り入れる。 ・声や身の回りの音など、友達と関わりながら音遊びに親しめるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かに発想すること。体全体の感覚や、技能などを働かせ、表したいことなどを、自分の表現方法で作り出す喜びを味わうようにすること。 ・はさみや簡単なカッターなど、安全に気を付け、基礎的な技能を習得すること。 ・自分や友達の作品について、見ることに興味を持ち、その楽しさを味わうこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいことに合わせて、粘土、厚紙、クレヨン、はさみ、のり、絵の具などの身近な材料や扱いやすい用具を使用し、手を働かせて、造形活動ができるようにする。 ・簡単なカッターなどの用具を、安全に留意して活用できるようにする。 ・自分や友達の作品について、形や色、表し方の面白さなどに気付けるようにし、友達の作品の表したかった気持ちを聞いて、楽しく鑑賞することができるようにする。